



がっこうだより

枚方市長尾西町2丁目45番1号 TEL050-7102-9176
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp
URL https://hirakata.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2710079

枚方市立西長尾小学校 令和7年2月28日号

<西長尾小学校のめざす児童像>

1. 心豊かな子ども（自他を大切に
する、思いやりのある子ども）
2. 深く考える子ども（自ら学び、
創造的な思考を持ち、柔軟に行動
できる子ども）
3. 健康な子ども

まわりの人と関わりあうことでつかめること

—— 自分と、まわりの人への気づき

教室で机を並べて同じ地域に住む仲間と学びます。同じ街に住み、同じ時代を生きています。世の中の大きな変化の波の中で、毎日少しずつ成長していきます。



6年生を送る会の進行は、4年生が行います。練習後の振り返りを行い、良いところと改善点を確認中。

今日はどんなことに気がつき
ましたか？ 楽しかったことは
何ですか？ しんどかったことは
どんなことですか？ 言葉に
して誰かに伝えてみましょう。
お互いの心をわかちあうことは、
自分とはちがう「人の
気持ち」を知ることにつながり

ます。知っていることよりも知らないことのほうがはるかに多いことを
知り、誰もが謙虚であるべきこと（相手の意見をすなおに受け容れて、
自分はもっと成長すべきなんだという向上心を持つこと）などにも気づく
ことができます。

このように、小学校は周りの人の姿や心を知っていく中で、自分を
知り、育てていける、すてきなところですよ。

今の学年の残り1か月を、毎日大切に過ごしてください。

<お知らせ> 離任式について

今年度より、すべての枚方市立小中学校において、離任式を3月24日（修了式の日）に実施することとなりました。

これまで離任式は4月10日前後に実施しておりましたが、離任式による職員の移動に伴う担任不在を回避し、年度当初の学級経営をより円滑に行えるようにするための変更です。

3月24日の離任式時点でお伝えできる内容は、あくまでも内示段階であることから「現任校から異動する」ということだけです。異動については4月に正式決定となりますので、異動先について学校や教職員個人へのお問い合わせは、お控えください。

3月24日時点において、職種によっては異動の有無も含めて決まっていない職員も居りますので、この離任式で紹介する職員以外にも異動となる場合もあります。

離任式以降に異動が決まった職員も含めて、それぞれの異動先につきましては、4月以降にあらためてお知らせします。

コミュニティ・
スクールだより

持続可能な学校支援のための
「ゆる〜い」「あたたか〜い」つながり

—— 令和6年度 大阪府「教育コミュニティづくり」実践交流会より

2月8日（土）13時から大阪市内の「ドーンセンター」にて開催された、令和6年度大阪府「教育コミュニティづくり」実践交流会。

本校の「こどもサポーター制度」の実践が、大阪府教育庁から「好事例として実践報告をしてほしい」との依頼があり、これまでの約2年半の取組みを紹介してきました。

子どもたちは自己肯定感が高まり、関わる地域の方も子どもの成長に立ち会える喜びを感じていただける場となっています。



<創作劇活動(コミュニケーション授業)で見えてきたこと>

各学期に一度、1コマ～3コマの時間を使って全学年で行ってきた創作劇活動(演劇的手法を生かしたコミュニケーション授業)。2年間の取組みの中で人と人とのかかわりの良さを体感する学びとして見えてきた特徴は次のとおりです。

<創作劇活動の指導の特徴>

- 1) 短時間で効率よく、自然に、楽しく(心理的安全性のある中で)、さまざまな人間関係の「疑似体験」ができるもの。
- 2) 子どもたちの自然な自己開示があり、知らず知らずのうちに子ども同士の関係性を近づける効果がある。
- 3) お互いの受けとめの違いを知り、多様な考え方があることを実感し、寛容の心を育むことができるもの。

この活動は、継続する中で次第に日常生活や授業の中の行動面に良い影響をもたらしていくものです。

学校教育自己診断の結果にも、関係性のよさや、自己肯定感の高まりとして表れています(2月27日に配信した学校教育自己診断結果の公表資料もご覧ください)。

☆西長尾小学校ホームページ

(ブログ) QRコード→



2月18日 2年生 昔遊び

校区福祉委員会の皆様にお越しいただき、昔の遊びを一緒に楽しみました。こま回し、お手玉、羽根付き、紙鉄砲、紙飛行機を、順番に体験していきます。



2月6日 1年生 公開研究授業(テーマ「非認知能力を育む授業改善の手立ての研究」)

指導講師としてAll HEROs合同会社 中山芳一先生においでいただきました。

子どもたちの非認知能力——「忍耐力」「自制心」「自尊心」「向上心」「相互理解」「受容・共感」「協調」のための力を育む手立てを研究してきました。

今回の研究授業が今年度の校内研究の総まとめに当たります。これまで各学級で子どもたちに身につけるべき非認知能力の価値のよさを意識できる機会をそれぞれの教職員が作ってきました。



2月13日 3年生 コミュニケーション授業(創作劇活動)

2～3人のグループごとに、10分程度で創った(相談して役を決めて練習をした)作品を発表します。写真は双子のきょうだい、家に帰って手洗いをしてコーラを飲んで父の料理を食べた場面を披露しているところです。伝わる表現を意識した身体表現で、たった2つだけの台詞を使って、1つのドラマができていました。講師の先生からは、終了後、1人も漏れることなく、この活動に協力的に加わっていると、学年の子どもたちの底力を褒めていただきました。



2月15日 4年生 グループ創作(創作劇活動)

参観の時間に発表をしました。

3つの前ばなしのうち、一人ひとりが一つを選び、その続きの戯曲を400字で創作しました。その後、3人1組となり、お互いの作った作品を吟味し合い、発表する作品を1つ選び出します。それを3人で相談し役を決め練習し発表です。



2月20日 6年生 田口山小学校6年生との交流会

長尾西中学校にて、6年生どうしで、心理的安全性のある関係をつくって中学校入学を迎えてほしいとの願いから、交流会を行いました。写真は一番最初の全体でのアクティビティです。



2月26日 5年生 卒業式の練習

厳かな儀式にふさわしい落ち着いた演奏ができるように、心を合わせて努力していました。一人一人、真剣な眼差しで先生の助言を聞いていました。

